

会員1,000社が集うレンタルオフィス 「充実したセカンドライフを！」 シニア起業家を支援

銀座セカンドライフ

銀座セカンドライフ(中央区銀座、片桐実央社長、03・3545・1765、<http://ginzasecondlife.co.jp/>)は、定年前後50代〜60代の方の起業、いわゆる「シニア起業」を、ワンストップでサポートしている。近年は、NHKなどのメディアでも女性起業家の成功例として話題となっているが、同社設立のきっかけは、片桐社長自身が大好きだった祖母への介護経験にある。「祖母のために、もっと何かできたのではないか」と後悔する中で「セカンドライフの生きがいづくりを手伝う事業を通して、より楽しく生き生きとした人生を、お客様と一緒に過ごしたい」そんな願いを、社名の『セカンドライフ』にこめた。

同社の事業は、①レンタルオフィスの運営、②起業家交流会の開催、③起業に関する事務サポートを主な柱としており、中でも、レンタルオフィスの運営に力を入れている。不動産業者らが運営するレンタルオフィスとは異なり、単なる場所と事務機器の提供だけでなく、法律や会計といった経営の専門的なアドバイスのほか、助成



使いやすさを追求したレンタルオフィス

金や便利な融資制度の紹介など無料で行うのが特長である。時には、人脈づくりに協力することもあり、ハードとソフト両面から利用者を支えるのが、同社のレンタルオフィスの強みだ。

充実したサービスが好評を得て、同社のレンタルオフィス「アントレサロン」を利用する契約社数は年々増加、今では約1,000社にのぼり、その7割をシニア起業家が占めている。1月には横浜駅前店がオープンし、銀座・東京(日本橋)・横浜の3拠点に5店舗を展開する。



片桐実央社長

同社では今後、全国の主要都市にレンタルオフィスを開設し、地方のシニア起業家の東京進出を支援するとともに、東京の企業にとつても地方出張時に利用できるような営業拠点を整備する予定であり、「より多くの方に、もっと充実したセカンドライフを送っていただきたい」と片桐社長の夢は広がる。